

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月7日

【四半期会計期間】 第89期第2四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社ハマイ

【英訳名】 HAMAI INDUSTRIES LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 河 西 聡

【本店の所在の場所】 東京都品川区西五反田七丁目7番7号 SGスクエア2階

【電話番号】 03(3492)6711(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 管理本部長 吉 村 真 介

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区西五反田七丁目7番7号 SGスクエア2階

【電話番号】 03(3492)6711(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役 管理本部長 吉 村 真 介

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第88期 第2四半期 連結累計期間	第89期 第2四半期 連結累計期間	第88期
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高	(千円)	4,039,320	4,015,594	8,142,283
経常利益	(千円)	101,658	219,250	357,732
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	42,669	133,947	224,696
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	166,680	118,925	547,344
純資産額	(千円)	12,785,794	12,880,644	13,099,657
総資産額	(千円)	16,829,456	17,142,734	17,170,606
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	6.39	20.07	33.67
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	76.0	75.1	76.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	235,020	957,671	278,585
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	211,976	496,578	191,497
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	120,422	122,690	209,764
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,526,711	3,839,244	3,503,076

回次		第88期 第2四半期 連結会計期間	第89期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	0.26	19.28

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの経営成績及び財政状態への重大な影響は、現時点においては生じておりませんが、今後の経過によっては重大な影響を及ぼす可能性があり、推移状況を注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とそれに対応する緊急事態宣言の発出を受け、輸出や消費の減少、企業収益や雇用環境の悪化など厳しい状況となりました。また、同様に世界経済においても経済活動が急速に低下しており、今後の感染状況によっては景気回復が遅れ長期停滞となる可能性もあり、内外経済の先行きは極めて不透明な状況であります。

このような中、当社グループの主力商品であるLPG容器用バルブ部門の売上は当期間に関しては、コロナ禍でのステイホーム傾向の中、家庭用LPGガスの消費は増加し、LPG容器用弁も順調に推移し前年同期比増収となりました。一方、配管用バルブ部門については世界経済動向の影響を最も受ける製品群ということもあり、国内外の工事の中止や設備導入控え・在庫調整により非常に厳しい状況に陥った為、前年同期比減収となりましたが、高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門は当期間に関しては、コロナ禍の影響を大きく受けることなく全般的に順調に推移し、前年同期比増収となりました。また、黄銅削り粉の売上は販売量減少と販売価格の低下に伴い減収となり、全体の売上高は40億1千5百万円、前年同期比2千3百万円（0.6%）の減収となりました。

収益面につきましては、主要な原材料である黄銅材価格が少し落ち着いたことに加えて、全社を挙げて生産性向上や継続的なコスト削減に取り組んだこと、並びにコロナ情勢に鑑み企業活動の効率化を図ったことの効果などもあり、営業利益は2億8百万円、前年同期比1億1千5百万円（124.6%）の増益、経常利益は2億1千9百万円、前年同期比1億1千7百万円（115.7%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても1億3千3百万円、前年同期比9千1百万円（213.9%）の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

〔バルブ事業〕

当社の主力商品であるLPG容器用バルブ部門は売上高16億6千3百万円（前年同期比5.6%増）、配管用バルブ部門は売上高7億2千3百万円（前年同期比18.1%減）、高圧ガスバルブ・ガス関連設備機器部門は売上高9億6千1百万円（前年同期比12.2%増）、その他売上高は3億7千8百万円（前年同期比12.8%減）となり、その結果、売上高は37億2千8百万円（前年同期比0.6%減）となり、また営業利益は2千2百万円（前年同期は営業損失9千3百万円）となりました。

〔不動産賃貸事業〕

賃貸収入は前年同期とほぼ同じ2億8千7百万円となり、営業利益は1億8千5百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末と比較して、1億8百万円増加し、88億7千万円となりました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末と比較して、1億3千6百万円減少し、82億7千2百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価が下落したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末と比較して、2億5千7百万円増加し、24億9千2百万円となりました。これは主に未払費用が増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末と比較して、6千6百万円減少し、17億6千9百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、2億1千9百万円減少し、128億8千万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して3億3千6百万円増加し、38億3千9百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億5千7百万円の収入、前年同期比7億2千2百万円(307.5%)収入の増加となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益2億1千8百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億9千6百万円の支出、前年同期比2億8千4百万円(134.3%)支出の増加となりました。

これは主に、有形固定資産の取得支出が増加したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億2千2百万円の支出、前年同期比2百万円(1.9%)となり前年同期と同水準の支出となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億5百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の法定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	11,518,000
計	11,518,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	7,424,140	7,424,140	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	7,424,140	7,424,140		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (千円)	資本金 残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日 ~ 2020年6月30日		7,424		395,307		477,917

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
ミスチ持株会	東京都品川区西五反田7丁目7番7号 SGスクエア2階	926	13.88
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町1丁目13番1号	624	9.35
浜井三郎	神奈川県横浜市都筑区	356	5.33
佐藤金属株式会社	東京都千代田区神田須田町2丁目13番地3号	336	5.04
濱井啓子	東京都日野市	222	3.32
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1番2号	195	2.92
濱井健一郎	神奈川県川崎市宮前区	178	2.66
富士精密株式会社	東京都府中市宮前1丁目40番地	176	2.65
株式会社ミツロコグループホールディングス	東京都中央区京橋3丁目1番1号	175	2.63
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1丁目5番5号	166	2.48
計		3,356	50.31

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 751,600		
	(相互保有株式) 普通株式 7,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,660,200	66,602	
単元未満株式	普通株式 5,340		
発行済株式総数	7,424,140		
総株主の議決権		66,602	

(注) 1 「単元未満株式」には当社所有の自己株式35株が含まれております。

2 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が5,000株(議決権50個)含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ハマイ	東京都品川区西五反田 七丁目7番7号 SGスクエ ア2階	751,600		751,600	10.12
(相互保有株式) 四国ハマイ株式会社	香川県高松市国分寺町 福家甲2466番地11	7,000		7,000	0.09
計		758,600		758,600	10.21

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人まほろばによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,494,618	3,830,063
受取手形	² 1,062,640	1,107,845
売掛金	1,854,229	1,553,503
有価証券	195,258	210,330
商品	1,908	2,638
製品	601,060	642,693
原材料	277,284	251,656
仕掛品	1,162,588	1,155,396
貯蔵品	44,460	45,629
前渡金	49,254	49,187
その他	18,272	21,261
流動資産合計	8,761,574	8,870,208
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,266,558	3,167,906
構築物（純額）	97,157	92,633
機械及び装置（純額）	1,057,812	978,433
車両運搬具（純額）	2,292	1,773
工具、器具及び備品（純額）	44,090	36,491
土地	328,832	328,562
リース資産（純額）	95,685	90,280
建設仮勘定	186,568	593,649
有形固定資産合計	5,078,997	5,289,729
無形固定資産		
ソフトウェア	8,484	8,499
電話加入権	2,412	2,412
リース資産	4,813	1,909
借地権	360	360
無形固定資産合計	16,070	13,180

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,753,530	2,388,309
関係会社株式	1,705	1,705
出資金	310	310
長期前払費用	2,136	19
会員権	17,739	17,309
保険積立金	435,321	437,461
繰延税金資産	-	25,814
その他	98,176	93,551
貸倒引当金	300	210
投資その他の資産合計	3,313,963	2,969,615
固定資産合計	8,409,031	8,272,525
資産合計	17,170,606	17,142,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	2 1,338,525	1,131,483
買掛金	444,109	540,385
未払金	101,618	245,006
未払法人税等	34,861	115,333
未払消費税等	22,980	75,555
未払費用	56,962	227,417
前受金	49,280	51,380
預り金	35,131	10,765
リース債務	41,787	40,776
賞与引当金	41,100	46,300
設備関係支払手形	2 68,742	6,446
その他	-	1,822
流動負債合計	2,235,098	2,492,673
固定負債		
役員退職慰労引当金	266,982	277,632
退職給付に係る負債	665,158	702,434
長期預り保証金	711,869	711,869
リース債務	86,454	77,480
繰延税金負債	105,385	-
固定負債合計	1,835,849	1,769,416
負債合計	4,070,948	4,262,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	395,307	395,307
資本剰余金	648,247	648,247
利益剰余金	11,840,414	11,874,275
自己株式	722,611	722,611
株主資本合計	12,161,357	12,195,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	947,720	699,608
為替換算調整勘定	9,420	14,181
その他の包括利益累計額合計	938,300	685,426
純資産合計	13,099,657	12,880,644
負債純資産合計	17,170,606	17,142,734

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高		
製品売上高	3,298,831	3,336,935
商品売上高	34,381	28,157
加工屑売上高	418,376	362,913
商品及び製品売上高合計	3,751,589	3,728,007
不動産賃貸収入	287,730	287,587
売上高合計	4,039,320	4,015,594
売上原価	¹ 3,344,615	¹ 3,267,550
売上総利益	694,704	748,044
販売費及び一般管理費		
運賃	45,569	46,186
役員報酬	75,678	79,994
給料	130,559	125,281
賞与	23,765	27,045
賞与引当金繰入額	12,915	10,324
退職給付費用	9,356	15,740
役員退職慰労引当金繰入額	9,625	10,650
減価償却費	10,811	12,880
その他	283,805	211,929
販売費及び一般管理費合計	602,086	540,031
営業利益	92,617	208,012
営業外収益		
受取利息	2,040	1,977
受取配当金	26,129	26,942
雑収入	7,484	9,918
営業外収益合計	35,654	38,837
営業外費用		
売上割引	1,308	2,091
為替差損	25,257	25,506
雑損失	46	1
営業外費用合計	26,613	27,600
経常利益	101,658	219,250
特別損失		
固定資産除却損	² 840	² 444
特別損失合計	840	444

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
税金等調整前四半期純利益	100,817	218,805
法人税、住民税及び事業税	55,616	106,557
法人税等調整額	2,531	21,699
法人税等合計	58,148	84,857
四半期純利益	42,669	133,947
非支配株主に帰属する四半期純利益		
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,669	133,947

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	42,669	133,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	142,184	248,112
為替換算調整勘定	18,173	4,760
その他の包括利益合計	124,010	252,873
四半期包括利益	166,680	118,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	166,680	118,925
非支配株主に係る四半期包括利益		

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	100,817	218,805
減価償却費	204,606	213,574
貸倒引当金の増減額(は減少)	54	90
賞与引当金の増減額(は減少)	9,400	5,200
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,389	37,276
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	20,175	10,700
受取利息及び受取配当金	28,169	28,919
為替差損益(は益)	572	317
固定資産除却損	840	444
その他の営業外損益(は益)	2,184	2,138
売上債権の増減額(は増加)	294,999	255,520
たな卸資産の増減額(は増加)	165,082	10,712
仕入債務の増減額(は減少)	130,695	110,765
前渡金の増減額(は増加)	187	66
未払金の増減額(は減少)	1,032	152,246
未払費用の増減額(は減少)	164,009	170,455
未払又は未収消費税等の増減額	132,998	53,722
預り金の増減額(は減少)	27,766	24,366
売上割引料	1,308	2,091
未収入金の増減額(は増加)	431	759
その他	26,541	19,436
小計	295,709	963,624
利息及び配当金の受取額	28,169	28,919
売上割引料の支払額	1,308	2,091
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	87,550	32,780
営業活動によるキャッシュ・フロー	235,020	957,671
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	205,904	489,544
無形固定資産の取得による支出	686	1,368
投資有価証券の取得による支出	7,014	7,360
投資有価証券の売却による収入	1,074	
その他の投資の回収による収入	554	1,695
投資活動によるキャッシュ・フロー	211,976	496,578
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	20,333	22,602
配当金の支払額	100,088	100,087
財務活動によるキャッシュ・フロー	120,422	122,690
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,335	2,234
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	103,714	336,168
現金及び現金同等物の期首残高	3,630,426	3,503,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,526,711	3,839,244

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 非連結子会社及び関連会社に係る注記

非連結子会社及び関連会社に対するものは次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
関係会社株式	7,050千円	7,050千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
受取手形	126,485千円	千円
支払手形	266,637 "	"
設備関係支払手形	1,148 "	"

(四半期連結損益計算書関係)

1 当期製品製造原価に含まれる賞与引当金繰入額および退職給付費用は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
賞与引当金繰入額	44,485千円	35,975千円
退職給付費用	40,537 "	48,891 "

2 固定資産除却損の内訳は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
建物	36千円	千円
機械及び装置	785 "	161 "
工具、器具及び備品	17 "	0 "
リース資産	1 "	283 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金勘定	3,521,224千円	3,830,063千円
有価証券勘定	255,765 "	210,330 "
小計	3,776,989 "	4,040,394 "
預入期間が3か月を超える定期預金	1,937 "	"
投資期間が3か月を超える有価証券	248,340 "	201,150 "
現金及び現金同等物	3,526,711 "	3,839,244 "

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	100,088	15	2018年12月31日	2019年3月29日

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年8月9日 取締役会	普通株式	利益剰余金	66,725	10	2019年6月30日	2019年9月2日

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年3月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	100,087	15	2019年12月31日	2020年3月30日

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年8月7日 取締役会	普通株式	利益剰余金	66,725	10	2020年6月30日	2020年9月1日

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	パルプ事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,751,589	287,730	4,039,320
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	3,751,589	287,730	4,039,320
セグメント利益又は損失()	93,629	186,247	92,617

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	パルプ事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,728,007	287,587	4,015,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	3,728,007	287,587	4,015,594
セグメント利益	22,947	185,065	208,012

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	6円39銭	20円7銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	42,669	133,947
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	42,669	133,947
普通株式の期中平均株式数(株)	6,672,591	6,672,505

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第89期(2020年1月1日から2020年12月31日まで)中間配当については、2020年8月7日開催の取締役会において、2020年6月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおりの中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 66,725千円
1株当たりの金額 10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2020年9月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月7日

株式会社ハマイ
取締役会 御中

監査法人まほろば

指定社員
業務執行社員 公認会計士 土 屋 洋 泰 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 関 根 一 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハマイの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハマイ及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。